

悠久の時を超え、古人の思いを伝える治水施設

「女男石護岸施設」 県史跡指定

千手にある「女男石護岸施設」が3月25日に福岡県の史跡に指定されました。女男石護岸施設は、「女男石」と呼ばれる二つの巨岩と、川岸を守る石積、川底に置かれた多くの大岩で成り立っています。

女男石付近は、川が急に曲がる箇所にあたるため、洪水の原因ともなる場所でした。洪水から地域を守るために江戸時代に築かれた女男石護岸は、小石原川の流れを巨岩で受け止め、川底の大岩が流れをかき乱すことで、川の流れの勢いをやわらげているのです。



▲二つの巨岩と石積、川底に置かれた大岩が川の流れの勢いをやわらげています。



▲数百年の時を超えた現在でも、周辺地域の水害を防ぐ役割を担っています。

また、勢いが弱められた流れは、下流にある取水口へと一部が流れ、田畑を潤す用水として使用されてきました。女男石護岸施設は、秋月藩ができた江戸時代初頭における技術の粋の集まりとも言えるものです。何度かの洪水によって一部壊されたという記録が見られますが、修理や手入れを繰り返し、昔と変わらない役割と姿を見せてくれています。当時の人たちの熱い思いが込められた生きた文化財と言えます。

きれいな花たちがお出迎え

第6回花と野菜のガーデニングフェスタ

4月16日・17日、美奈宜の杜で第6回「花と野菜のガーデニング・フェスタ」が開催され、美奈宜の杜のお宅の庭が公開されました。メイン会場では「あさくらわくわくマルシェ」と題して、あさくらの特産品の販売、蔵ガーデンが行われ、多くのお客さんと賑わっていました。

また、イベントでは、関係者が市内の福祉施設への寄附と、熊本地震への義援金募金活動を行い寄附しました。



▲公開されたお庭。きれいなお花たちがたくさん咲いていました。

棋道で養う考える力

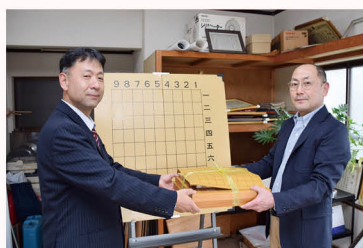
日本将棋連盟あさくら支部 将棋セット寄贈

4月28日、朝倉将棋連盟が「礼に始まり礼に終わる棋道を通して、考える力と謙虚な心を学んでほしい」と願い、市内の小中学校に将棋セットを寄贈しました。

今回寄贈されたのは、将棋盤、駒、対戦用時計などで、各学校のクラブ活動等で活用されます。



▲将棋盤は市内の小中学校のクラブ活動などで活用されます。



郷土を愛する心を胸に

馬田少年環境/パトロール隊

4月9日、馬田コミュニティセンターにて馬田少年環境/パトロール隊入隊式が行われました。

馬田小学校4から6年生の児童で構成される馬田少年環境/パトロール隊は、5月から翌年の2月までの間、1カ月に1度校区内の地域を巡回し、空き缶やごみを拾う活動を行います。

昨年は20年目を迎え、福岡県青少年健全育成対策推進本部長顕彰を受賞しました。

今年も24人の新たな隊員たちが馬田地区の環境を守ります。



▲今年も私たちが馬田地区の環境を守ります！

おかげさまで20周年

ファームステーションバスロ 20周年誕生祭

4月17日、道の駅原鶴ファームステーションバスロで20周年誕生祭が行われました。

ファームステーションバスロは、新鮮な地元野菜や果物、特産品を使った加工品などが人気で、市内外から毎年多くのお客さんが訪れています。20周年を迎え、小林部長は「新しいステージの上に立ち、生産者と消費者をつなぐ要としてあり続けるため、私たち従業員がさらに頑張っていくことが地域活性化につながると思っています」と話しました。



▲当日は、抽選会が行われ、お米のすくい取りなどを楽しむ姿が見られました。